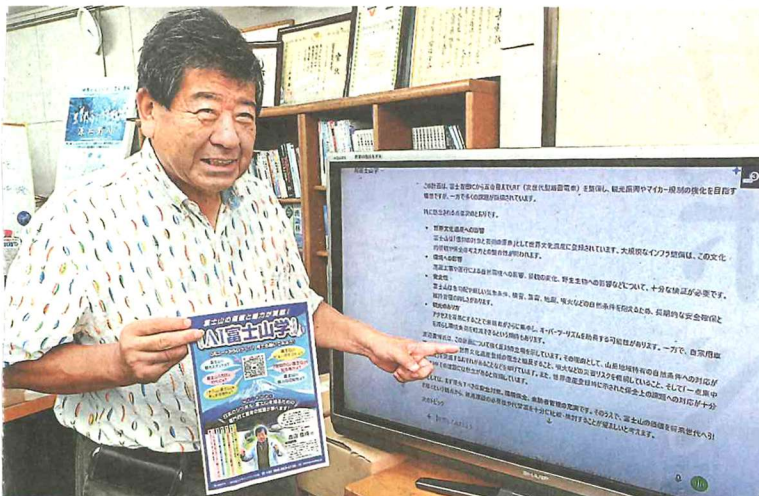


令和8年(2026年)7月5日(日曜日)

歴史、穴場スポット、ごみ問題…対話形式で学べる



A I 富士山学を紹介する渡辺専務理事＝三島市のGW三島

三島市のNPO法人グラウンドワーク（GW）三島は、富士山の歴史や文化などを対話形式で学べるシステム「AI富士山学」を開発した。富士山のビュースポットから自然や信仰、ごみの放置問題といった課題まで広く網羅している。

「AI富士山学」を開発

GW三島 外国語に対応、マナー周知も

同法人の渡辺豊博専務理事（76）が提唱する「富士山学」の論文や著作など、約1千万字のデータを学習させた。身近な話題にも対応する。ビュースポットを巡ねると三保松原や田貫湖などのほか穴場を紹介したり、羽田空港から三島駅を経由する効率的なルートを案内したりと、旅行者にも役立つ情報を示す。遭難時の救助有料化といったテーマには「無謀な登山への費用負担には合理性がある一方、高額な自己負担を課すと救助要請をためらって被害が拡大するおそれもある。予防策との組み合わせが重要」などと解説する。

英語や中国語にも対応し、訪日客へのマナー周知や保全を担う人材育成にも活用する。10問まで無料で利用でき、以降は月額2200円（税込み）。GW三島のホームページから利用できる。

（三島支局・白本俊樹）